

第 1 回 五ヶ丘地区教育環境検討協議会 会議録

【日 時】令和 6 年 6 月 2 1 日（金）19:00～20:30

【場 所】益富交流館 中会議室

【出席者】委員 1 2 名、事務局 3 名

【欠席者】委員 1 名

【傍聴者】0 名

- 【議 事】
- 1 あいさつ
 - 2 五ヶ丘地区の教育環境に関するこれまでの検討経緯について
 - 3 協議事項
 - （1）五ヶ丘地区教育環境検討協議会の設置及び運営について
 - （2）会長及び副会長の選任について
 - （3）五ヶ丘地区教育環境検討の方策について
 - 4 今後の協議会日程（予定）

【内 容】（要点）

1 あいさつ

2 五ヶ丘地区の教育環境に関するこれまでの検討経緯について

事務局 （資料に基づき説明）

委員 経緯に対する補足だが、要望書提出の前に、令和 4 年に区長会において、行事がなくなっている状況などから、一部の区長から小学校の在り方について声が上がり、令和 4 年 1 1 月 6 日に小学校 P T A や子ども会、保護者なども出ていただき、区長も参加して意見交換会を実施した経緯がある。

そこで、今のままでよいということであればやめようとも考えたが、おおむね再編に賛成が多かったということで、区長会として要望書につながった。

委員 意見交換会では、何に困っていて再編したいという声が多かったか。

委員 ざっくばらんな会だったが、やはり人数が少ないことで色々な行事ができないということがあった。マラソン大会や運動会の色々な競技がなくなったことなどに対し、確かにそうだということだった。

委員 少し補足すると、一つは児童数が減ってきており、先生側も大変になっているということ。もう一つは、クラスの人間関係が固定化してしまい、悪い状況から抜け出せない子がいるのではないかと心配があった。

委員 少人数だから悪い部分もあれば、良い部分もあるかと思うので、そのあたりが難しい。

委員 アンケート結果の資料は五ヶ丘地区の抜粋資料だが、小学校ごとの結果も見ら

れないか。各学校で回答に差があるのか、次回でも良いので知りたい。

事務局
委員

次回の協議会で示す。

小規模校対策の手法として「学校の統合を検討する」を選択したのが 66.2%としているが、小規模校対策の必要性に対し「必要」「どちらかという必要」を選択した人の中の割合。つまり全体では 5 割に満たないことになる。全体の中の過半数以上が賛成しているかのような表示に見えるため、全体に対する割合も隣に載せてほしい。

事務局
委員

次回の際に追記する。

「人数が少ないことによる困りごとの有無」の次に「小規模校対策の必要性」があるが、因果関係が分からない。

事務局

資料 4 ページの⑩で、必要性に対する理由を集計している。また、3 ページにクロス集計も掲載しているが、因果関係を明確にするものではなく、あくまで統計の結果として、人間関係の困りごとの有無がある人の方が小規模校対策の必要性があると回答している人が多い、という傾向を示したもの。

委員

教員の働き方改革で部活動やイベントが減っている側面もあると思われ、統合して人数が増えても行事等が増えるとは言えないのではないかな。

いじめも人数が増えても起きるときは起きるため、難しい。

3 (1) 五ヶ丘地区教育環境検討協議会の設置及び運営について

事務局

(資料に基づき説明)

委員

今回たまたま自分が P T A 役員だが、ほかに意見を言いたい保護者もいると思う。そういう人も参加して意見を言うことができるか。一部の人の意見だけで決まってしまうはどうかと思う。

委員

傍聴が自由だと案内したところで、会場的に難しいのではないかな。

事務局

現状の案では傍聴者として意見は言えない。会議として混乱をしてしまうこともあるため難しい。この後の協議事項で、進め方として広く意見を言う場を設けるという案も持ってきている。

委員

議事録はいきなり次回協議会の当日に確認では厳しいのではないかな。メールや文書で事前に送付してもらいたい。

事務局

事前に送付し、疑義や意見を確認することとする。

委員

校区の意見をまとめるとあるが、関係者として意見を言う人と、関係ないが住民として意見を言う人があるが、平等かな。

事務局

学校は地域のためのものでもあり、通っている子どもたちや保護者のためのものでもあるため、意見としては平等に言っていただければと思う。

委員

自分の自治区内では、学校再編について、良い面もあれば悪い面もある難しい問題であるとして周知しているが、他の問題と同様意見は特に出ない。でも、本当は意見を持っている。発言をする一部の意見は、極端な内容もあり、それをもみんなの意見として考えてよいか、ということも難しいと感じる。

事務局

意見のまとめ方についてもこの後の協議事項で案を持ってきているため、御意見をいただきたい。この議題については、のちほど再協議とする。

3 (2) 会長及び副会長の選任について

事務局 (立候補・推薦の有無を確認の上、事務局から会長に小谷委員、副会長に森本委員を提案)

各委員 (異議なしの声) → 決定

3 (3) 五ヶ丘地区教育環境検討の方策について

事務局 (「1 学校再編に関する検討の流れと全体のスケジュールについて」資料に基づき説明)

委員 教員の知り合いが多く、少子高齢化に伴う学校再編の方法として、小中一貫校の例も聞かれるが、そのあたりはどうか。

事務局 小中一貫校は豊田市として検討が必要と考えているが、五ヶ丘地区としては古瀬間小学校との再編を検討する段階にないと考えており、そうすると小中一貫校は難しいと考えている。小中一貫校にも分離型や一体型、併設型の種類があるが、益富中学校の施設の状況や距離を踏まえると一体型を進めていくのは課題が多いと考えている。ただ、そのような声が多ければ、検討が必要。

委員 跡地活用として高齢者用の施設などの検討はされないか。少子高齢化の視点で言うと、私の地区内では学校再編を契機に地域を活性化してほしいという声も多い。

事務局 跡地活用については、全市的な視点も踏まえて今後検討していくことになる。

事務局 (「2 両小学校区の児童数の推移」「3 今後の協議の進め方について」資料に基づき説明)

委員 委員の挙手で決めるのではなく、アンケートなどで関わりのある全員へ広く意見を聞くべきではないかと思う。

児童や保護者だけが関係者ではなく、例えば、再編後に避難所として廃止される場合は、地域の住民にも関係がある話ではないか。避難所として廃止されることはないのか。

事務局 廃校後の跡地活用についてはここでは回答が難しい。まずは子どもたちの教育環境にとって学校再編が必要かという視点を一番大切にしたいと考えている。

委員 学校再編が無関係だと考えていた人が、再編後に避難所として廃止された場合に、承知していなかったと感じるのではないか。廃止される可能性があるなら、そのことを住民に説明するべきではないか。

委員 それは再編が決定した後の調整でもよいのでは。また、五ヶ丘地区のことで言えば、避難所2か所は不要だと思う。昭和56年以降の建物ばかりであり、地盤もよく、国の考え方でも、何らかの損害は受けても、倒壊することはほとんどない。1か所に避難所が統合されても、距離的にも問題ないと感じる。近所の集会所でも行かない人は行かない。避難所のことはそこまで考慮しなくてもよいと思う。

委員 クレームのリスクを考慮して、そういったことも説明しておくことで「説明した」という風に言えるかどうか、ということでは。

委員 代替の場所を検討するということもあるだろう。地域の集会所を補完として使用するだとか。それは次の段階で、まずは小学校をどうするか。避難所の廃止によって再編に反対が多いのであれば、それで再編は不要となってしまうかねない。

事務局 再編の要否を決定するタイミングで、どこまで細かい条件を決定できるか、今

の段階では何とも言えない。再編の決定後に調整して決まってくることもある。

例えば、再編決定の合意書を提出する際、再編時に配慮してほしい事項を盛り込んで提出している例もあり、そういった方法も考えられる。

委員 保護者等の反対が多い場合は、行政として再編は延期することになるのか。

事務局 今は再編を実施しないという判断もありえるかと思う。

委員 P T A会長でも、各保護者がどのような意見を持っているか知らない。できれば第2回までに、何かしらの意見を聴取・集約してから出席しないといけないのではないか。

委員 アンケートはあった方がよい。全世帯でも2,000世帯程度のため、住民も含めて実施した方が良いのでは。それぞれの団体でやってもよいが、バラバラでは意味がないし大変。統一した内容を教育委員会で作成し、実施するのは自治区を介してというのが良いのではないか。遅くとも1か月あれば回収可能。

事務局 アンケート結果の取り扱いにも留意が必要。保護者や関係者に比べて住民の方が人数としては多くなってしまいうことにも留意が必要。在校生といった属性を回答してもらうことも可能。

委員 属性ごとの集計が可能にすることはよいが、属性ごとの傾向が異なった場合にどのように判断すればよいかは難しい。また、「はい」や「いいえ」で答えられる人ばかりでなく、「分からない」という人も多いのではないか。

事務局 昨年度の意見交換会でも、大多数は困っていない人が多かったが、本当に一部の保護者や教員で、人間関係等で深刻に困っているような話もあった。数としては多数派ではないが、簡単に無視もできないという面もある。

委員 今回の協議会委員に参加することを聞きつけた人から、実際にいろいろ聞かれたりもした。やはり保護者、当事者はとても気になっているはず。傍聴ができるとなれば来るのでは。

事務局 説明会とアンケートを実施する方向で進めていく。次回の協議会の前に実施するのは難しいため、次回の協議会で説明会とアンケートの内容について提示することだろうか。

各委員 (異議なし)

事務局 「(2) 本協議会における目標の設定」については本日決めるのは難しいため、次回の協議会でまた協議していく。

3 (1) 五ヶ丘地区教育環境検討協議会の設置及び運営について(再協議)

事務局 改めて、協議会については原則公開ということで良いか。傍聴者が多い場合も考え事前申込みとすることでどうか。

委員 傍聴に直接来てもらうことも大変。オンライン会議の形式でリアルタイムで公開してはどうか。チャットなどでその場で意見聴取できるようにしてもよい。不安や課題について、オンライン会議で参加した人が書き込んでくれば、集計をすることもできる。そういう方法だと意見も出しやすいのでは。

委員 この時間帯だと主婦は参加ができないため、録画配信などがあるとありがたい。

事務局 高齢者の場合、書き込みたくても書き込めないような場合もあるかもしれない。協議会の場で意見を直接話し合うのは、やはりこの委員の皆さんに限るのが良いと考える。協議事項に対してアンケートや説明会で意見を言う場を用意すること

が重要ではないか。限られた時間で、不特定多数の書き込みを活用して議論をすることは進行上難しい。

委員 意見集約としては一番速いと思うが。

事務局 書き込みに対して、後から集約・分析する方法は有効ではないかと思うし、当日の進行もスムーズになると考えるがどうか。

各委員 (特に意見なし)

事務局 実際にどのようにできるかについては、セキュリティの問題も含め確認をさせていただきます。

委員 アンケートについて、例えば、2世帯同居の家庭で最も関連があるのは在校生とその保護者だが、祖父母が勝手に回答してしまうようなケースなども考えられる。

委員 全員の意見が必要と考えているか。

事務局 市としては必ずしも全員が必要とは考えておらず、ある程度の意見集約をする案として、案1と案2を示させていただいている。何に困ったり課題があるのかという部分を明確にしていくことが重要だと考えている。

委員 本当にほかの人がどう考えているかわからないため、広く意見を聞くことが重要だと思うが、それが必ずしも100%でないといけないわけではない。それでは議論が決まらないと思う。そのあたりのさじ加減が重要だと思う。

事務局 アンケートで意見を聴取するのか、採決をとるのか、どのようなイメージか。

委員 まずは意見聴取し、解決方法を説明したうえで、参加者に対して賛否を聞く、という順番ではないか。

後から、聞いていない、という人に対してどのようなケアができるかは心配。

委員 録画の配信などがあればよいのではないか。

委員 いろいろ手を尽くしたうえで何も参加していない人が、決定後に聞いていない、と言ってくることもあるかもしれないが、それは気にしても仕方ないことだと思う。

このように実際に協議会委員として参加すれば意見を持てるし、言うことができるが、そうでない場合、気持ちがあっても流してしまう。そういう人にいかに意見を言ってもらえる場を設けるか。

委員 自治区の経験で言っても、回覧などをしたからと言ってみんなが見るわけではないというのはそのとおり。

事務局 広く参加できる場を設けることが重要ということで進めていく。

委員 それで意見を言わなかった人は、言える場はあったわけだから、と考えればよい。

事務局 具体的な方法は検討して提示する。設置及び運営については次回の提示する内容に合わせて修正し、次回示す。

4 その他、閉会

事務局 次回提示するためのデータ収集等を行っているところだが、資料については事前にお送りし、当日協議できるようにする。

委員 できるだけ私たちがスピーカーになって、多くの人に意見をもらうようなことをしていければ良い。組長会でもアナウンスしていく。皆さんも自分の周りでも

話題に出してもらえればと思う。

次回の協議会の案内も教育委員会から広く伝わるように出してもらえれば。

事務局
委員

そのように学校や園と調整する。

オンライン会議はよいところもあるが、悪いところもある。踏み込んだ意見に対し炎上なども考えられ、個人の特定に配慮しないと活発な議論になりにくいのでは。

委員
委員

発言者が分からないようにできないか。カメラで顔を写さないようにするなど。

説明、議題に対する話し合いの様子だけ録画し、後からアップロードするなどかどうか。

委員
事務局

音声と資料だけでよいのでは。声だけで分かってしまうかもしれないが。

実施方法は検討していく。

(以上 閉会)